

会 議 録

会 議 名	令和 6 年度第 1 回野田市福祉のまちづくり運動推進協議会
議題及び議題ごとの 公開又は非公開の別	(1) 令和 5 年度福祉のまちづくり運動の事業報告について(公開) (2) 令和 6 年度福祉のまちづくり運動の事業計画について(公開)
日 時	令和 6 年 10 月 29 日 (火) 午前 10 時 00 分から午前 11 時 30 分まで
場 所	野田市役所 8 階大会議室
出 席 者	○委 員 坂 幸徳、加藤 弘子、中村 義光、上木 昭、熊沢 英也、 吉岡 靖二、黛 笑美子、渡辺 伊一、岡田 武治、清水 拓司、 小林 幸男、深津 憲一、遠藤 桂子、山本 和也、澤田 修、 中村 政道、滝口 喜英、小林 孝英、加藤 憲三、縄田 浩子、 古矢 浩祥 ○事務局 鈴木 有(市長)、今村 繁(副市長)、大久保 貞則(総務部長))、飯塚 等(土木部長)、高橋 康仁(都市部長)、小林 智彦 (福祉部長)、代田 明洋(健康子ども部長)、中村 正則(企画 財政部次長)、山口 忠司(福祉部次長)、池田 亜由美(健康子 ども部次長)、安藤 剛行(生涯学習部参事)、成田 守良(管理 課長)、坂齊 和実(道路サービス課長)、岩澤 正之(道路建設 課長)、岡田 勇貴(障がい者支援課長)、間々田 英示(指導課 長)、寺田 政司(営繕課長)、園田 謙二(営繕課長補佐)、 福島 義人(営繕課副主幹)、大柴 伸太郎(営繕課主任技師)、 海老原 純一(生活支援課長)、里見 秀(生活支援課長補佐)、 初見 利津子(生活支援課社会係長)、竹村 直子(生活支援課主 任主事)
欠 席 委 員	小平 明美、荒井 勇、門倉 正樹、染谷 等、清水 昇、 安井 清人、宮部 仁志、渡辺 玲児、高梨 忠生、横尾 紀秀
傍 聴 者	なし

司 会	(開会) ＜令和6年度第1回福祉のまちづくり運動推進協議会を開催する。市長が指名した会長及び副会長の報告、会議の公開についての説明、資料の確認＞
司 会	市長挨拶を求める。
市 長	＜市長挨拶＞
司 会	市長が公務により退席する旨を伝える。 ＜市長退席＞
司 会	＜委員へ自己紹介の依頼＞
各委員	＜自己紹介＞
司 会	＜欠席委員の報告、議長の依頼＞
議長（会長）	議事に入る。「(1) 令和5年度福祉のまちづくり運動の事業報告について」を議題とする。事務局からの説明を求める。
生活支援課長	＜事務局説明＞
営繕課副主幹	＜事務局説明＞
議長（会長）	説明があった内容について、各委員に質疑及び意見を求める。
吉岡委員	トイレ改修について、一番問題となるのが広さの問題だと思う。車椅子を使用している方、歩行が困難な方、手が不自由な方、誰でも使いやすい形になっていけば有り難い。

営繕課長	トイレ改修については、既存のトイレの洋式化なので、広さは、ある程度限定されてしまう。高齢者などが使いやすいように、Ｌ型の手すりなどを積極的に設置するような形で対応しているが、バリアフリースイッチとなると、スペースの問題などがあり、現状の改修では難しい。
上木委員	二点確認したい。一点目。市役所野馬除土手付近の木の枝葉が歩行の支障となっているから対応したと書いてあることについて、去年、確かに切ってもらったが、今年もまた同じような状況になっている。二点目。市役所の正面玄関に向かって歩いてくると、点字ブロックはあるが、掃除していないからか、剥けているのかわからないが、黄色になっていない。点字ブロックが全く機能していない。
障がい者支援課長	一点目。引き続き、歩行の妨げになっている箇所については、御指摘があった際には、早急に対応を取らせていただきたい。二点目。昨日、市役所付近の点字ブロックを確認した。色があせており、黄色の着色がほとんどない状況を現認した。今後、そういった所をしっかりと点検して、整備できる所は整備するというふうに進めていきたい。
議長(会長)	ほかに質疑、意見があるか伺う。 <質疑、意見なし>
議長(会長)	「(1) 令和５年度福祉のまちづくり運動の事業報告について」は、承認いただけるか伺う。 <異議なしの声>
議長(会長)	異議がないようなので、「(1) 令和５年度福祉のまちづくり運動の事業報告について」は、承認とする。 次に「(2) 令和６年度福祉のまちづくり運動の事業計画について」を議題とする。事務局からの説明を求める。

生活支援課長	<事務局説明>
議長（会長）	説明があった内容について、各委員に質疑及び意見を求める。
吉岡委員	バリアフリー化計画について伺う。今まで私たちは、携帯型集団補聴システムという、いわゆるヒアリンググループの設置を要望してきたが、今回は、聴覚障がい者に関わるものとして、軟骨伝導イヤホンに変わっており、効果のある人もいると思うが、いわゆる聴覚障がい者に対する配慮とは考えにくい。これを選択した理由を伺う。
福祉部長	ヒアリンググループについては、現在、市内４箇所に設置されており、利用頻度が上がっていないというのが現状としてあるが、これで終わりということではない。今回は、窓口の環境整備ということで、より多くの方が利用できるように、軟骨伝導イヤホンを選ばせていただいた。
吉岡委員	ヒアリンググループの利用頻度が上がっていない、ということだが、確かに利用されていない。施設の指定管理者が、使い方をわかっていないことや、ヒアリンググループが設置されていることの周知がされていないのが原因ではないか。そのために、私たちの活動として、ヒアリンググループはこういうものだという体験会を実施した。参加者のアンケートでは全部が、ヒアリンググループはよく聞こえた、というものだった。
福祉部長	指定管理者が、ヒアリンググループの使い方をわかっていないという部分については、反省したい。各施設で、使い方がわかるようにしたい。また、ヒアリンググループについて、PRができていないという反省がある。広報等をしていきたい。
渡辺委員	トイレの洋式化は、市のファシリティマネジメントの方針に基づき計画的に進める、ということだが、そうなった理由を伺う。
生活支援課長	公共施設のバリアフリー化は、トイレの洋式化だけではない。段差の解

	消や、みんなが安心して利用できるような窓口の環境整備、そういったものを目的に、協議会では進めていきたい。トイレの洋式化は、当然やらなければならない事業なので、市として計画的に進めていく。
吉岡委員	福祉マップについて伺う。
福祉部長	福祉マップについては、民間施設も含めて、より多くの施設に登録してもらうのが第一と考える。いろいろな障がいに対応した情報発信をしていきたい。
議長(会長)	ほかに質疑、意見があるか伺う。 <質疑、意見なし>
議長(会長)	「(2) 令和6年度福祉のまちづくり運動の事業計画について」は、承認いただけるか伺う。 <異議なしの声>
議長(会長)	異議がないようなので、「(2) 令和6年度福祉のまちづくり運動の事業計画について」は、承認とする。
議長(会長)	<議事終了、閉会を宣言> (閉会)